

考えよう！ 一般廃棄物 最終処分場

vol.
2

検討委員会委員の紹介

第1回遠軽地区広域組合一般廃棄物最終処分場候補地検討委員会では、委員に委嘱された方々は、

◆住民委員（3名）

- ・高橋 亘 氏（佐呂間町）
- ・久保 英之 氏（遠軽町）
- ・北村 茂 氏（湧別町）

◆学識経験者委員（2名）

- ・北海道大学 石井 一英 教授
- ・北見工業大学 駒井 克昭 教授

◆行政委員（3名）

- ・3町の環境衛生担当課長

互選により、石井一英北大教授が委員長として選出されました。石井教授は廃棄物管理工学が専門で、北海道、札幌市などの各種審議会委員を務められ、今回は、遠軽地区の最終処分場広域化に向けた検討のかじ取りを引き受けていただきました。

最終処分場候補地を絞り込む

9月6日開催された第2回委員会では、前回各3町から提示された6か所の候補地について、今後詳しく比較検討するための第1段階として、現地調査結果の報告を踏まえ、候補地を数か所に絞り込む選定作業を実施しました。

現地調査は、当該候補地の町担当者として広域組合衛生施設課、委託コンサルタントが行い、各候補地について、「地形」「周辺状況」「地盤状況」「土地利用」「道路」「放流河川」「拡張性」「構造適正」等を調査し、委員会に調査結果を報告しました。

委員会では、候補地絞り込みのための選定基準となる評価項目を、

- 1 生活環境の保全
 - 2 文化財等の保全
 - 3 土地利用との整合
 - 4 地盤状況
 - 5 建設用地の確保
 - 6 支障物件の有無
 - 7 放流先の確保
 - 8 ユーティリティの整備状況
 - 9 土地取得の容易性
 - 10 運搬効率
- の10項目と設定し、各候補地について現地調査結果と評価項目の照合を行い、適性を評価した結果、遠軽町、湧別町、佐呂間の町有地3か所を候補地として選定しました。

次のステップに向けて

検討委員会は、8月下旬に留萌南部衛生組合と岩見沢市の施設見学を行いました。

留萌南部衛生組合の施設は、平成26年に供用開始したクローズド型（屋根付き）最終処分場で、近年急速に普及している構造です。

岩見沢市では、平成27年にごみ中間処理施設と同時にオープン型（屋根無し）最終処分場が供用開始しています。いずれも廃棄物処理法の設置基準に基づき整備した施設です。

近年整備された新しい最終処分場の施設見学の成果を、今後の構造検討の参考事例として活用していきます。

【写真：クローズド型（留萌南部衛生組合）】



【写真：オープン型（岩見沢市）】



次回の検討委員会

絞り込んだ3か所の候補地の現地確認と、最終処分場の構造について検討を行う予定です。

傍聴を希望される方は、事前にご連絡ください。

◆日程…11月23日（土）概ね14時〜

※候補地の現地確認終了後に開催

◆場所…えんがるクリンセンター
2階研修室

◎遠軽地区広域組合衛生施設課

☎0158・42・8325

◎町民課生活環境係

☎2・1213